

# 新・総合計画 ビジョン（原案）の概要

資料1

20年後の目指す姿を描く「**ビジョン**」と、これを踏まえて、今後10年間に重点的に取り組む具体的な政策を体系化した「**基本計画**」の2つをあわせた、新たな「**総合計画**」を策定する。

## ■ **ビジョン**（20年）

今後20年の本県を取り巻く様々な変化を見通した上で、県民の幸福度向上に向けた「**目指す姿**」と「**実現へのロードマップ**」をバックキャスト思考で描くもの。

【なぜこのビジョンを策定するのか？】

・これまでの群馬県は何でも中庸 → 今までと同じでは先はない、という**危機感**

・**新たな価値や富を生み出す**ためには、先を見通した、**新しい考え方や手法**を取り入れることが必要

## ■ **基本計画**（10年／5年経過時に見直し）

ビジョンで描く20年後の姿を実現するための施策を、ロードマップの形で体系化するとともに、SDGsの視点から各分野の重点施策を網羅的に整理したもの。

# 新・総合計画策定懇談会

各分野における最新の知識や優れた知見を持った有識者から意見を聴くことを目的に設置

## ＜県外有識者 6名＞

No.	氏名	所属・役職
1	太田 直樹	(株)NEW STORIES代表
2	北野 菜穂	(株)アスコエパートナーズ執行役員
3	田中 元子	(株)グランドレベル代表取締役社長
4	中島 さち子	ジャズピアニスト 数学教育者
5	丹羽 隆史	(株)タニタ取締役 (株)タニタヘルスリンク取締役会長
6	福井 隆	東京農工大学大学院客員教授

## ＜県内有識者 6名＞

No.	氏名	所属・役職
1	小林 良江	県立女子大学学長
2	田中 仁	(株)ジンスホールディングス 代表取締役CEO
3	手島 実優	女優 モデル
4	手島 由紀子	手島精管(株)代表取締役社長
5	平塚 浩士	群馬大学学長
6	矢島 亮一	NPO法人自然塾寺子屋 理事長

## ＜開催経過＞

第1回：令和元年11月15日（金）

第2回：令和2年2月7日（金）

第3回：令和2年5月19日（火）

第4回：令和2年9月9日（水）

（五十音順、敬称略）

# 新・総合計画ビジョン策定に向けた「外部有識者ヒアリング」

世界の潮流を踏まえた将来の群馬県の姿を描くため、全国的・国際的に活躍されている当代一流の有識者をゲストに呼び、ヒアリングを実施

<合計6回開催>

No.	日時	ゲスト	ゲストの所属・役職
第1回	令和元年11月27日(水)	デービッド・アトキンソン	(株)小西美術工藝社 代表取締役社長
第2回	令和元年12月26日(金)	武見 敬三	参議院議員 WHOユニバーサルヘルスカバレッジ親善大使
第3回	令和2年 1月 6日(月)	マシ・オカ	デジタル視覚効果アーティスト 俳優
第4回	令和2年 1月17日(金)	三浦 瑠麗	国際政治学者 (株)山猫総合研究所代表
第5回	令和2年 2月19日(水)	伊藤 和真	(株)PoliPoli CEO 慶應義塾大学商学部在学中
第6回	令和2年 3月25日(水)	安宅 和人	ヤフー(株)CSO 慶應義塾大学環境情報学部教授

(敬称略)

# 新・総合計画「ビジョン」のポイント

- 1 新型コロナウイルスの感染拡大によって、「**ニューノーマル**」への**転換**が必要となった。
- 2 群馬県にとって、今までの「**弱み**」が「**強み**」へと**変化する好機**となる。
- 3 この機会を捉え、ニューノーマルを先導する群馬を実現するため、  
**「デジタル化に基づく価値の創造」**の方向軸と  
**「安全性・持続性の追求（SDGs）」**の方向軸を設定した。
- 4 新たな取組として、各地域の固有性を活かした  
**「『始動人』を育む教育イノベーション」**の推進 と  
**「官民共創コミュニティ」**の立ち上げなどを考えている。
- 5 最終的に20年後に目指す姿は、  
**「年齢や性別、国籍、障害の有無等にかかわらず、全ての県民が、  
誰一人取り残されることなく、自ら思い描く人生を生き、幸福を実感  
できる自立分散型の社会」**である。